



BUSINESS フィールド

創立35周年を機に新たな不動産業へ・(株)琉信ハウジング

<tsr-van2 検索企業コード 950186945>

株式会社琉信ハウジング(城間泰社長)は、8月19日に創立35周年を迎える。

同社は1988年に当時の親会社である株式会社琉信の子会社として設立された。

設立当初は、アパートの賃貸管理や賃貸仲介をメインとして事業をスタート。その後、グループ会社が販売した分譲マンションの管理業務や不動産の売買仲介で業容を拡大。2003年に親会社の分譲部門を吸収統合し、本格的にフレスコアシリーズの分譲マンション販売や浦添ニュータウン等の団地の借地管理業務を開始した。アパートや住宅、店舗等の設計やリフォーム工事の受注、木造住宅の分譲販売を行うなど事業を拡大し、地場の総合不動産会社として順調に業績を伸ばしてきた。

2023年3月末のアパートを中心とした賃貸管理戸数は約8000戸。マンション管理戸数は約3800戸と県内ではいずれもトップクラス。また、フレスコアシリーズの分譲マンション販売は累計で13棟。アパートや戸建住宅等の設計施工管理は約60棟近くの実績がある。

2023年3月期の売上は2,049百万円、経常利益で347百万円、当期利益238百万円を計上。賃貸管理、マンション管理といった安定的な管理収入を主体とする売上構成に加え、不動産の売買仲介、マンションや戸建住宅の分譲販売で売上や利益を積み増す事業構成となっており、自己資本比率も61%を確保して安定性の高い水準を維持している。

今年2月には、賃貸仲介業務における物件案内や内見予約、入居申込みから賃貸借契約までを完全電子化した。入居申込み者がスマホで入力した情報が一気通貫に基幹システムに流れ、かなりの業務効率化につながっている。また、従来の紙ベースで1～2週間程度かかっていた契約までの手続きが、最短で1日でも可能となり、お客様からも好評を得ている。

7月からは不動産売買仲介でも電子契約を実現した。今後は、入居者やオーナーとのリレーションの電子化を進めていく予定である。

「不動産業界はどちらかと言うとDXが遅れている業界。お客様の利便性向上と社内業務の効率化を実現することにより、これまで以上にお客様に対してきめ細かい対応が可能となる。」と城間社長は言う。

歴代の社長は、琉球銀行出身者が務めており、現在の社長は7代目。「琉球銀行との連携も多いため、銀行同様に信用が第一である」と語る。

創立35周年を機に更なるDXに取り組み、新たな不動産業として脱皮していきたいと模索している。



本社:那覇市松山2丁目3番12号 ☎098-868-1000
 浦添支店:浦添市経塚745番地7 ☎098-877-1000
 豊見城支店:豊見城市字豊見城470番地3 ☎098-840-6660
 中部支店:沖縄市古謝津嘉山町1番5号 ☎098-939-1184
 名護支店:名護市東江5丁目5番35号 ☎0980-45-0323
 南風原支店:南風原町字兼城717番地6 ☎098-888-2288
 宜野湾支店:宜野湾市宇地泊2丁目1番3号 ☎098-942-2022